

## 東京 DMAT 隊員養成研修等の中止における対応について

### 1 経緯

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染拡大防止の観点から本年度の東京 DMAT 隊員養成研修等を中止とした。このことに伴い、研修を受講できなかったことにより生じる問題点等を整理し、対応を図るものである。

### 2 問題点

今年度の東京 DMAT 隊員養成研修受講予定者は120名、中止により現時点の有資格者は1,166名となる。同時開催を予定していた更新研修も中止としたため、今年度末の失効予定者は167名となり、来年度スタート時は1,000名体制を維持できなくなる。

### 3 対応案

今年度失効となる隊員については、一律1年間期限延長の特例措置を取る。理由として、コロナ禍で出場件数が減少したこと、また、東京消防庁の訓練等も縮小となり、訓練参加機会が減少したこと及び今年度の隊員養成研修等の中止により、更新要件を満たすことが困難であったためである。延長期間中に出場や訓練参加、更新時研修または来年度の更新研修の受講を促進し、1,000名体制を維持する。

また、資格が既に失効し、今年度の更新研修で復活予定であった元隊員については、年度末の更新時研修等により救済措置を取る。

